

サステナビリティ ビジネス NEWS VOL2

金融庁は、企業内容等の開示に関する内閣府令等の改正(R5.1.31)により、有価証券報告書等において、[サステナビリティ情報の開示](#)を求めています。これは2025年には拡大され、グローバルなサステナビリティ報告基準に準拠する形で整備される予定です。サステナビリティは移り変わる目標であり、毎年多くの変化があります。Global Techno と Read the Air は、持続可能なビジネスの分野の進化を理解するための堅固な基盤を提供するとともに、最新の動向を常に更新し続けることを目指しています。このニュースレターでは、Read the Air の Trista Bridges と Donald Eubank が、持続可能なビジネス戦略、ポリシー、ツールに関する最新のニュースをピックアップします。

2023 年は世界で最も暑い年、それでも気候変動との闘いにおける楽観的な理由

[NASA](#)によると、昨年は記録的な暑さとなり、地球温暖化が2023年にさらに加速したとされています。しかし、新しい展望もあります。[Our Word in Data](#) のハンナ・リッチーの名著『[Not the End of the World](#)』では、温暖化対策の着実な進展について考察しており、気候変動に対応しつつ、人間の福祉を向上させる「エネルギー、輸送、食料、建築の現実的な方法」が紹介されています。

リード・ザ・エアは、多くの対策の鍵は企業内の[基本的な構造変化](#)と[既存技術](#)の応用にあると考えています。日本の企業は、移行を促進するソリューションを提供することや、持続可能なビジネス慣行を採用し、ソリューションに参画することによって、競争力を高め利益を得ることが可能です。

COP28-化石燃料産業の最終的な衰退に企業はどう対応すべきか？

2023年、ドバイで開催されたCOPでは、化石燃料ビジネスのロビー活動に関するスキャンダルが問題となり、多くの人々にとっては期待外れの結果となりました。しかし、この出来事が、一つの大きな転換点を示しているとも言えます。[国際エネルギー機関\(IEA\)](#)は、「[石油・ガス業界にとっての真実の瞬間](#)」が近づいていると指摘しています。これは、ネットゼロを目指すシナリオにおいて、化石燃料ビジネス市場が大幅に縮小する可能性があるためです。また、CCS(炭素捕獲・貯蔵)技術は、今のままではエネルギー需要を満たすのに非現実的です。活動家の[ビル・マッキベン](#)は、COP28での「化石燃料からの脱却」という表現が含まれた合意が、[投資家](#)、[銀行家](#)、[年金基金](#)、[訴訟を好むヘッジファンド](#)、[小島嶼国政府](#)などによって、強力な解釈で利用されるだろうと考えています。このような状況で、日本の企業や団体は、国内での再生可能エネルギー資源の開発を促進することが重要です。これにより、国際的な投資市場での競争力を維持し、価格決定力を保持するために、積極的なロビー活動が求められています。[RtAの記事はこちら](#)

気候変動に対応する組織へと変革するために、ビジネスが取るべき実践的なステップ

2024年WEF年次国際CEO調査「グローバルリスクに関する認識」では、今後10年間の深刻度トップ10に7つの環境・社会リスクが挙げられている。しかし、新たな人材の獲得や新たな思考を必要とするこのようなテーマに企業が対応するのは難しいのが現実です。研究者たちは、企業が斬新な変化にどのように対応し、リーダーが将来のグローバルな現実にもどのように適応しているかを調べています。

RtAのドナルド・ユーバンクは、組織ビジネス心理学者の[ダグ・マッキー](#)博士が編集したRoutledge社の新刊「[The Handbook of Climate Change Leadership in Organisations](#)」に、「気候変動対策のための持続可能な目標設定」の章で寄稿しています。気候変動リーダーシップの側面に関するこれら20の論考は、組織においてそのような能力をいかに効果的に開発できるかについて、様々なモデルを提供しています。[Routledge社](#) (および[アマゾンジャパン](#))より20%オフで発売中。

来るべき米国のCBAM?

米国上院は1月18日、超党派の米国法案であるPROVE IT法案を審議しました。この法案は、「米国内および特定の外国で生産される特定の製品の温室効果ガス排出強度に関する調査を実施し、報告書を提出することをエネルギー長官に義務付ける」ことを目的としています。この法案は、米国で生産された商品と中国などの競合国との排出量に関する証拠を提供し、米国式炭素国境調整メカニズム(CBAM)の採用に道を開く可能性があります。

ABOUT READ THE AIR

Read the Air(リード・ザ・エア)は、ESGと持続可能性の実践に基づく戦略を活用して企業価値を創造することを可能にします。私たちは、情報、計画、人材、コミュニケーション、ツールに焦点を当てることで、これを実現しています。企業と連携し、ESG原則、持続可能な実践、国連のSDGs(持続可能な開発目標)に基づく持続可能なビジネスモデルを創造するための強力なビジネス戦略を設計、実施、実行するお手伝いをします。Read the Airは、最も複雑で急速に進化するサステナビリティ、ESG、およびビジネス問題について、情報に基づいた最新のアドバイスを提供します。Routledge社から絶賛発売中の書籍「[Leading Sustainably-The Path to Sustainable Business and How the SDGs Changed Everything](#)」(Routledge社では20%オフ Amazonでも購入可能)をご覧ください。

Read more on the subjects above here: www.linkedin.com/pulse/happy-new-year-from-read-air-read-the-air-0jqvc/